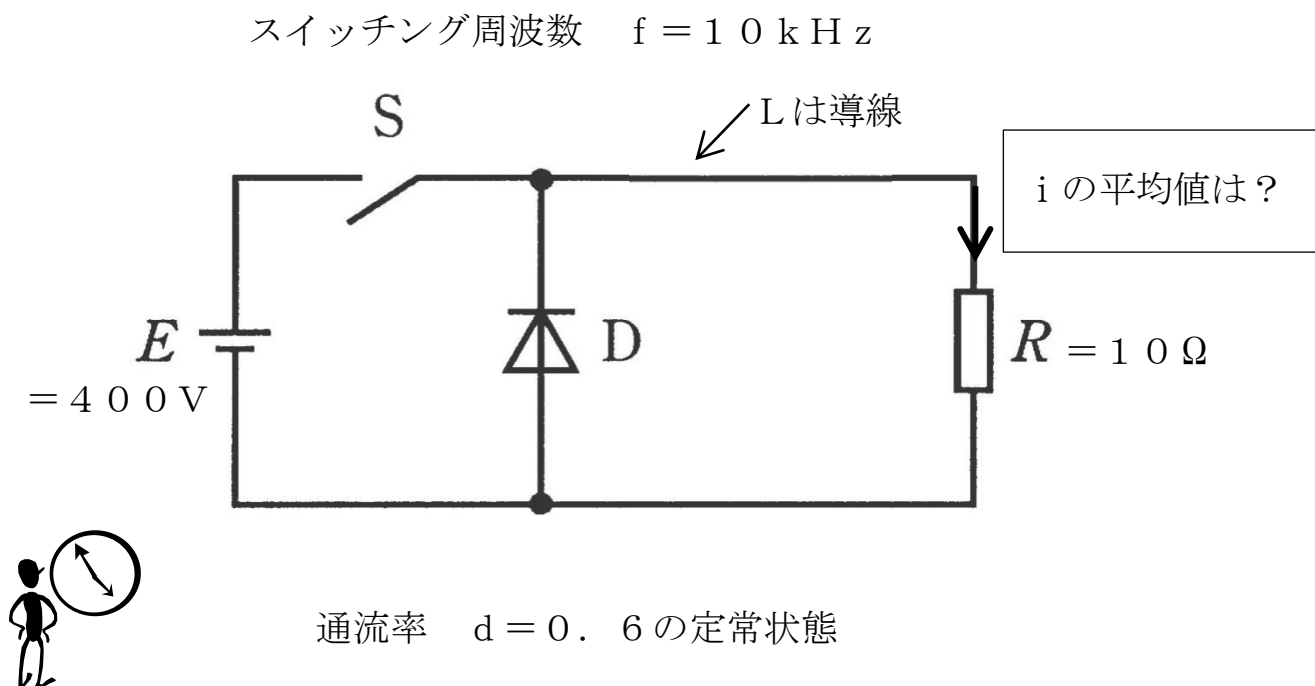


第11回 見かけだおし問題・・・直流チョッパ（2）

第10回で、まず、定常状態（Lは導線）と分かることがポイントの1つといいました。



ポイント② $f = 10 \text{ kHz}$ 、 $d = 0.6$ （関係ない数値もある）

$f = 10 \text{ kHz}$ だから $X = 2\pi fL$ なんてやってはダメなんですね。

Sを 10 kHz という手では無理なほど高速に on-off しているんです。

ポイント①で書いたように、たんに定常状態というのがポイントです。

あとは $d = 0.6$ という通流率です。Sを on-off していると、Rの電圧は $E = 400 \text{ V}$ より小さいだろうと見当ついてるでしょう。

とにかく、 $f = 10 \text{ kHz}$ は計算には使わず、 $d = 0.6$ に注目して、Rの電圧が $400 \times 0.6 = 240 \text{ V}$ （平均値）と見抜くことが重要です。

第12回へ続きます

